

【建築・電気科 2年 建築コース】 木材の圧縮強度試験



令和元年9月、建築・電気科2年建築コースでは、木材の圧縮強度試験を行っています。

木材は柱など圧縮力を受ける状態で使用されることが多いため、

木材の圧縮強さを理解し、その試験方法（JIS Z 2101）を習得することを目的として実習を行います。

試験体（スギ、ヒノキ）の形状、気乾状態、年輪の数、年輪の幅、年輪の配置・方向、特徴などをスケッチ・写真などで記録し、最大荷重はコンピュータで解析された数値を記録し実験を行います。